

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会



会 報

2025年3月12日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

横浜市旭区鶴ヶ峰 1-29-1

☎045-453-8386

<http://tomoni-people.net/>

【この20年を振り返って】

共に歩む市民の会 前理事長・現副理事長 深井浩治

皆さんこんにちは。前理事長の深井浩治です。NPO 法人共に歩む市民の会が20年を迎えると言う事で当時を一番知っているでしょうと、私にお鉢がまわってきました。思い出しながらこの文章を書いています。

【夜明け前】市民の会はいきなり出来た訳ではありません。その前段階の日々がありました。まず、M作業所が移転する事により、空き家を有効活用できないものかと話し合い、当事者からの要望もあってフリースペース“たまり場”を作る事となりました。市民・家族・当事者・関係者からなる“たまり場”の運営団体として“共に歩む市民の会”が出来たと聞いています。私はM作業所に通うかたわら、合間に“たまり場”に通い始めました。そこで、色々と当事者仲間から、生活の仕方を教わり、そして“たまり場”の運営にたずさわる事になり、だんだん病気も、回復してきました。M作業所のK所長に色々とお世話になり、今は一人暮らしをしています。そして、旭区にも旭区らしい生活支援センターをと“共に歩む市民の会”が構想し、横浜市に提言したところB型の支援センターを作ることが認められ、これを運営するため、“共に歩む市民の会”はNPO法人格を取りました。

【夜が明けて】そして、いよいよ陽が昇りました。生活支援センター“ほっとぽっと”が出来たのです。そこでの活動は、「職員・当事者が一緒に創り上げて行く」という理念のもとに、時には当事者が主体となって、イベント・学習・話し合いの場を作り、職員はそれを応援してくれました。まず、当事者が「何が欲しいか?行いたいのか?」等を職員と相談しながら創っていくわけです。生活支援センターだから職員はそれなりの業務をこなしつつ当事者の要望を考えていかなければならなかったから、さぞ大変だったと思います。そんな中、A型・B型の標準化、そしてコロナ禍に入りつつもそれを乗り越え当事者の為に日夜考え奮闘してきた職員・関係者には感謝しかありません。



【今太陽はどこに?】開設から20年たった今、太陽はどのあたりにいるのでしょうか。もう、夕方で日没寸前?そんなことはない私は信じます。まだまだ午前中のせいぜい9時ぐらいの位置にいて、これからもっと高く昇っていくと思います。

たった一つの事業所だったのが今は事業所が増えました。“メゾンほっと”です。そしてまた新しいことを考えています。これから20年たった時に、あの時に言っていた「まだまだこれから」と言う事が正しかったね、と言ってもらえるでしょうか。そう言ってもらえるように一理事として尽力していくつもりです。

【ほっとぽっと誕生秘話】

ほっとぽっと 前施設長 川田 剛

小咄を一つ申し上げます。

頃は2004年も暮れかかる頃。ほっとぽっと誕生前夜。〈たつはな亭〉と呼ばれていた別館で数人の面々が顔突き合わせて何やら相談しております。

お題はほっとぽっとの開所時間をどうするか?であります。他区の支援センター、と言っても当時あったのはすべて公設民営のA型センター。朝9時から夜9時まで開いているという情報が共有されます。

それを聞いた深井浩治さんがポツリひと言。「じゃあ、夜9時から朝の9時までにしよう」

一瞬、シーンとなりました。私も口あんぐり(…していたと思います)。で、当の深井さんはとみるとこれはもうニコリともせず、真剣そのものです。眠れない幾夜を過ごす辛さを骨身に沁みて知っている彼ならではのホンキの提案、とやっと気がつきました。いや〜コイツは参った!

で、どうする? 誰かが言いました。「でもサ、毎日夜から朝の勤務だと、職員は深井さんと田山さんしかできないねー」傍にいた(こちらも不眠族で有名だった)田山裕文さん(市民の会2代目理事長)がワハハと大笑い。他の人も大笑い。この稀代の名案は残念ながら「お蔵入り」となりました〜。

しかし、みなさんお立ち合い!! どっこい、かんたんにやめがない深井ネコさん。その後ピアによる「フクロウ電話」をみずから立ち上げたことはあまりにも有名です。それからこちらはあまり知られてないと思いますが、「みみずくの部屋」という夜中に出かけて行ってもいい場を定期的に主宰していました。口で言うだけじゃあなかった!!

ネコがフクロウとみみずくになったの巻、これにておしまいであります。



【チコちゃんとほっとぽっとの20年】

会員・ボランティア 徳久 和彦

共に生きる市民の会 この名前がとても私の眼にまばゆい存在でした。それから数年してほっとぽっと誕生間もない時にボランティアの応援を得たいと思って相談をしたのが具体的な接点を持ったきっかけでした。近所のチコちゃんは学校を通しての社会体験もなく、まさに永遠の5歳。でも大人言葉づかい・大人のふりだけはしっかり。20歳を過ぎてもどこに属することなく日々過ごし、唯一の接点が自宅近くで、数カ月に1度開催される近くのフリーマーケットで一日中うろつくことでした。

そこで私はフリーマーケットに来た普通の市民として、しかも、「市民」ボランティアとして声を掛けてくれないかという無茶な相談をほっとぽっとに。そんな依頼を引き受け、ボランティアの方も困りながら応じていただいたことを契機に、チコちゃんは社会とつながりました。市民の会が当初描いた「精神保健の旭区マップ」(精神保健関係者のネットワークづくり)の流れに沿って、約20年間ほっとぽっとの夕食会や各種行事、「むくどりの家」「二俣川ハウス」の網の目に乗ったのです。

その間、ほっとぽっと職員の方々は、チコちゃんの背景にある家庭環境の問題(家族の崩壊状態、チコちゃんの家出・放浪生活など)と格闘の連続でした。両親の気持ちとしては、家族関係のほころびを他人に見せられないという気持ちでいっぱい、他人に頼ることを拒否しつづけていたと思われます。

私は定年を機に電話相談の活動に参加し、様々な当事者の方の話に耳を傾け、ボランティアの方々の「市民」としての力に感心しつつ、活字では得られない学びを得ることができました。

彼女の母親は最近、後期高齢者になり、体力の限界になり倒れました。緊急入院で母親の精神疾病による

行動要因がようやく明らかになり、現在投薬により安定しつつあります。一方で、母子が住んでいた家もボロボロで住み続けられる状態でなくなり、『自由人』チコちゃんはグループホームでの生活、母親は老人ホームでの生活をスタートさせたばかりです。いつ、各ホームから退去と言われるかと不安を抱きつつ、「ともに生きる」重たさを冬の寒さに耐えるように身構えています。

様々な変化に耐えてきた「市民の会」「ほっとぽっと」がこれまで蓄えてきた知恵でこれからの変化にも対応していただくことを勝手ながら祈念しております。

【ほっとぽっと通信】

ほっとぽっとの近況は、玄関のアプローチにアーチを設置し(赤間職員の手造り!)2月までイルミネーションを飾りました。玄関周りの花も増え春野菜もぐんぐん成長しています。

12月、福祉避難所の防災機材倉庫を増設し防災備蓄も拡充しました。季節のイベントとしては、11/28 ハンドメイドクリスマス(木製ツリーに飾り付けを楽しむ)や、12/17 ピア主催のクリスマス会を開催し参加者23名で楽しみました。12/10から食材費高騰によりランチ代を450円へ値上げしました。11/22 旭中央地区民生委員見学会も実施しました。新年を迎え1/14 ピア初詣、2/14 精神保健福祉セミナーを区と主催し実行委員会を作り開催しました。(別記事)。2月に福祉実習生受入れ、3/3 旭区ふれあいスポーツ卓球大会に参加しました。

1月末にスタッフ2名退職があり、至らないこともあると思いますが、引き続きよろしく申し上げます。

【めぞんほっと通信】

三寒四温の季節、朝夕の冷え込みが厳しくなっておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。メゾンほっとではカレーの夕食会を月2回、土日の昼食会を月1回に増やし入居者同士の交流の機会を作っています。

引き続き、皆が安心して生活できるようなホームにしていければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【パネル展・精神保健福祉セミナーの報告】

2月14日(金)に精神保健福祉セミナーが開催されました。それに先立って10日より区役所ロビーにてほっとぽっと開所および共に歩む市民の会創立20周年記念パネル展を行いました。

パネル展もセミナーも大盛況でした。パネル展では「こういった催しはとてもありがたい。毎年やってほしい」とのご意見もいただきました。セミナーも5年ぶりに事前申し込みなしの開催でしたが大勢のご来場者がいらっしゃいました。ご来場くださった皆様、パネル等の貸し出し、資料をご提供下さった関係機関の皆様にご感謝申し上げます。



【共に歩む市民の会ホームページのお知らせ】

ご存じの方はいまさらとお思いでしょうが、市民の会のHPにはこのQRコードから簡単にいくことができます。スマホのカメラを起動してQRコードの下に出てくる黄色いリンクをクリックするだけです。

【第99回理事会報告】

◇日時 2024(令和6)年11月28日(木) 17時30分～

◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 多目的室

審議事項:

- ・上半期会計報告について

【第100回理事会報告】

◇日時 2025(令和7)年2月19日(水) 17時30分～

◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 多目的室

審議事項:

- ・令和7年度旭区生活支援センターほっとぽっと事業計画及び予算(案)について
- ・特定非営利活動法人共に歩む市民の会常勤職員給与規定の一部の改正について
- ・新規事業の立ち上げについて
- ・臨時総会の開催について
- ・職員一同からの要望書について

市民の会・ほっとぽっと・メゾンほっと

ほっとぽっと

- ・「お庭番くらぶ」(ガーデニング) 絹サヤ、そら豆の収穫、野菜・花の植え付けを随時やります。
- ・クイズdeGOGO(仮) 防災・常識クイズ、まちがいさがしクイズなど、好きな時にいつでもどうぞ。
- ・職員退職 木内洋子 1/31付、森下雄一朗 1/31付

ぴあくらぶ

- ・4/4 ピアお花見 こども自然公園(大池公園) 鶴ヶ峰からバスで行きます。申込み・詳細は来館にて
- ・仲間同志のつどい(当事者によるミーティング) 4/15(火)13:30～ 5/20(火)13:30～

メゾンほっと

- ・月2回のカレー夕食会、月1回の昼食会開催中

※常日頃からの法人へのご協力をご感謝いたします。

11月～3月に寄付をいただいた方 (敬称略)

阿部祐介 田中梨奈 今野利絵 小川昭男 ※物品寄付:水野鐵治

編集後記:設立20年を記念してパネル展を開催しましょう!とは言ったものの果たしてうまくいくのか、不安だらけでしたが何とか終わることができました。いかがだったでしょうか。ご来場くださった皆様の声をいただいて、こういった活動を地道に続けていくことの必要性を改めて感じました。(國井)

編集人(第72号)
〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-29-1
NPO法人共に歩む市民の会 広報委員会
定価 50円
低料第三種郵便物の認可を受け、SSKO(副題 NPO法人共に歩む市民の会会報)として発刊します。

発行人
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会